

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果

札幌市立石山中学校

【中学校国語】

本校の概要

課題

改善の方向

中学校 国語

□「話すこと・聞くこと」
・ 全国平均を下回っている。

□「書くこと」
・ 全国平均とほぼ同程度であるがやや下回っている。

□「読むこと」
・ 全国平均を上回っている。

□「言葉の特徴や使い方に関する事項」
・ 全国平均を上回っている。

●資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。

●書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考えること。

●文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えること。

●文脈に即して漢字を正しく使うことができること。

○視覚資料の活用法やプレゼン技術を学び、伝達力を高める活動を充実させる。

○要約練習や構成メモ作成を通じて、論理的な文章展開を学ぶ機会の充実。

○物語文を読み比べて人物描写を分析し、文構成との関係を考察する学習の充実。

○文章の中で漢字の使い方を確認し、意味や用法を辞書で調べる習慣をつける学習の充実。

【中学校数学】

本校の概要

課題

改善の方向

中学校 数学

□「数と式」

- ・ 全国平均を下回っている。

□「図形」

- ・ 全国平均を下回っている。

□「関数」

- ・ 全国平均を下回っている。

□「データの活用」

- ・ 全国平均を下回っている。

●式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明すること。

●証明を振り返り、証明された事柄を基にして、新たに分かる辺や角についての関係を見いだすこと。

●事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ること。

●不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。

○具体的な問題を通して式の構造を分析し、言葉と数式で説明する学習の充実。

○図を用いて証明の流れを整理し、既知の事柄から推論する学習の充実

○実際の事例をもとにグラフを分析し、数値やその傾向の意味を考える学習の充実。

○確率の実験やシミュレーションを行い、結果を表やグラフで整理して数値的に説明する学習の充実。

【中学校理科】

中学校 理科

課題

- 考察をより確かなものにするために、音に関する知識及び技能を活用して、変える条件に着目した実験を計画し、予想される実験の結果を適切に説明すること。
- 科学的な探究を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを行うこと。
- 水の中の生物を観察する場面において、呼吸を行う生物について問うことで、生命を維持する働きに関する知識が概念として身に付けること。
- 大地の変化について、時間的・空間的な見方を働かせて、土地の様子とボーリング調査の結果を関連付けて、地層の広がりを検討して表現すること。

改善の方向

- 音の性質（振動数・音速など）を理解し、条件を変えた実験を通じて結果の因果関係を分析する学習の充実。
- 探究活動の記録をもとに、発表内容と生活とのつながりを話し合うことで新たな疑問を共有したり、他者の発表を聞いて気づいた点をメモし、グループで振り返ることで視点の広がりや科学的思考を深化させる学習の充実。
- 水中の生物の呼吸方法を比較しながら観察し、酸素の取り込みと生命維持の関係を話し合う学習の充実
- 地形図や地質図を活用しながら、複数地点のボーリング調査結果を比較・整理し、地層の連続性や変化を時間軸と空間軸で捉える学習の充実。

学習状況調査（生徒質問紙）の結果【設問数 69 の内、主な内容】

- ※ 生徒の回答は基本的に、①…「当てはまる」 ②…「どちらかといえば当てはまる」 ③…「どちらかといえば当てはまらない」 ④…「当てはまらない」の選択回答です。
- ※ 質問紙調査は、学習意欲、学習方法、学習環境、生徒の諸活動、家庭生活、地域との関わり等に関するものです。

	質 問 事 項	全国平均との比較
1	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	下回っている
2	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	ほぼ同程度であるが、やや上回る

- 生活習慣に関する質問です。就寝時間については、全国平均を大きく下回っており、割合としては8割程度となっています。そして①「あてはまる」は3割程度となっています。起床時間については、ほぼ決まっていたとした割合がほとんどで9割を超えています。①と回答した割合も5割程度となっています。就寝時間が、日によってばらつきがある生徒が多いと思われます。

	質 問 事 項	全国平均との比較
3	自分には、よいところがあると思いますか	上回っている

- 自己肯定感に関する質問です。全国平均よりも「上回る」割合になっています。肯定的な回答の割合は9割を超え、①「あてはまる」の割合も4割以上となっています。自己肯定感については、「高い」とみてよいと思います。

	質 問 事 項	全国平均との比較
4	将来の夢や目標を持っていますか	上回っている

- 進路希望や職業観に関する質問です。肯定的な回答が割合としては7割以上となっています。全国平均より「上回っている」割合になっています。①・②の割合とも同程度に上回っている結果です。将来の目標を意識している割合は、多いととらえてよいと思います。

	質 問 事 項	全国平均との比較
5	人が困っているときは、進んで助けていますか	上回っている

- 他への思いやりに関する質問です。肯定的回答の割合としては9割強となっており、全国平均と比べても「上回っている」という結果です。①の割合は4割強で、全国平均を上回っています。②の割合も5割を超えています。多くの生徒に、周囲に対して思いやりをもって接しているという意識がうかがわれます。

	質 問 事 項	全国平均との比較
6	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	ほぼ同程度

- いじめに対する意識に関する質問です。全国平均より2ポイント近く上回る値で、10割近くの非常に高い割合になっています。③・④の割合は全国平均よりも0.2ポイント程度にとどまっています。いじめに対する正しい意識は、かなり高い割合で持たれていると思われます。

	質 問 事 項	全国平均との比較
7	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	下回っている

- 相談意識に関する質問です。全国平均を下回っています。しかし、④の割合では全国平均を大きく下回っており、相談相手がいない、という状況の生徒はほとんどいないように思われます。肯定的回答が6割強という結果から、学校での相談に抵抗感はないと考えてもよいと思いますが、残りの生徒に対するアプローチがより重要だと考えられます。

	質 問 事 項	全国平均との比較
8	学校に行くのは楽しいと思いますか	ほぼ同程度

- 学校生活に関する質問です。全国平均と「ほぼ同程度であるが、やや上回った」結果になっています。肯定的回答が9割近くとなっていることは、好ましい結果だと思います。半面、1割弱とはいえ、否定的回答の存在も、強く意識しなければいけないと考えます。

	質 問 事 項	全国平均との比較
9	友達関係に満足していますか	ほぼ同程度

- 友達関係に関する質問です。全国平均とほぼ同程度ながら上回り、肯定的回答が9割以上の非常に高い割合になっています。しかし、①の割合は全国平均より若干低く、5割となっていますが、全体的に友達関係に満足している生徒が非常に多いことがうかがわれます。

	質 問 事 項	全国平均との比較
10	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。	ほぼ同程度

- 幸福感に関する質問です。全国平均を若干上回り、9割以上と非常に高い割合になっています。④の割合は「0」となっており、場面はそれぞれさまざまだと思いますが、普段の生活で幸福感を感じることでできる生徒は非常に多いと思われます。

	質 問 事 項	全国平均との比較
11	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	ほぼ同程度であるが、やや下回る

- 主体的学習態度に関する質問です。肯定的回答が7割を超えていますが、全国平均を若干下回っています。①の回答割合も全国平均よりも低く、課題や疑問点などに、これまで以上に前向きに取り組もうとする力を育んでいく必要があるように思われます。

	質 問 事 項	全国平均との比較
12	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾・家庭教師・ネット活用時間も含む）	下回っている

●普段の家庭学習時間に関する質問です。家庭学習時間は、全国平均に比べて、下まわっていますが、ほぼ同程度。①3時間以上 ②2時間以上 ③1時間以上 ④30分以上 ⑤30分未満 ⑥全くしない の回答項目ですが、全国平均との比較では、①では2ポイント弱程度の下回り、②も1ポイント弱下回っています。一番割合が多かったのは、⑥で4割でした。全体的に家庭学習に取り組む習慣を身に付ける必要があるように思われます。

	質 問 事 項	全国平均との比較
13	1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか	下回っている

●授業でのICT機器の使用に関する質問です。全国平均を大きく下回っています。効果の検証が不可欠な事項だと思われまので、一概に使用頻度の向上だけを目標にはできないかと思いますが、今後も研修、実践の努力が必要な問題だと考えます。

	質 問 事 項	全国平均との比較
14	1・2年生時に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	下回っている

●授業での課題解決に関する質問です。肯定的回答が7割を超えていますが、全国平均を下回っています。否定的回答も全国平均より1割ほど高くなっています。授業での課題解決に向け、自主的な取組ができるような力を身に付けていく必要があるように思われます。

	質 問 事 項	全国平均との比較
15	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	上回っている

●他の尊重と協力に関する質問です。肯定的回答が9割5分となっており、全国平均を大きく上回っています。否定的回答も全国平均より低く、1割に満たない割合です。他の意見の尊重と協力の意識が高いことがうかがわれます。

	質 問 事 項	全国平均との比較
16	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	上回っている

●総合的な学習の時間に関する質問です。肯定的回答が8割をこえ、全国平均を上回っています。否定的回答も全国平均より低く、総合的な学習の授業での課題解決や発表に、概ね積極的に取り組まれているものと思われます。

	質 問 事 項	全国平均との比較
17	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	上回っている

●特別な教科「道徳」の授業に関する質問です。肯定的回答が10割に迫っており、全国平均を大きく上回っており、否定的回答が非常に少ないです。道徳の授業での話し合い活動に積極的に取り組んでいる様子がうかがわれます。

【課題と改善の方向】

本校の特徴として、就寝時間にはばらつきが見られるものの、真面目に生活し、学習に対しても前向きに取り組んでいる生徒の様子が見受けられます。家庭学習習慣は全国平均よりもやや低めですが、今回の各教科の正答率をみると、国語は全国平均よりも高く、数学は下回っており、教科によって得手不得手があるように思われます。また、領域によっては、全国平均を大きく上回っている点も見られます。ただし、個々の課題解決に向けての意識や向上心の育成など、今後の課題は多いように思われます。授業でのICT活用や、回答割合からみえる個人差の問題、取組時間などの改善点については、今後の課題と考えてよいと思います。

改善の方向としては、現在の取組の継続と、効果の検証と同時に学習意欲の向上を目指した取組（基礎基本・短期間・反復的なテストなど）など、継続的・反復的取組が必要であると考えます。また、問題解決型に向けた知識の定着だけではなく、自分の考えを適切な語彙や用法で、正確な文章表現やわかりやすい口頭表現ができるような表現力を培う指導も必要です。表現や発表機会の経験を多く積ませる工夫をしていく必要があります。

自己肯定感については全国平均よりも高い結果が出ています。幸福感やいじめに対する意識も全国平均を上回る結果となっています。しかし、低い割合とはいえ、否定的回答がされている部分もしっかり意識して、今後さらに、一人一人に対してきめ細かな指導体制を構築することを目標に、取り組んでいかなければならないと考えます。

授業や家庭学習でのICTの活用は全国の傾向と比較して、低めの感があります。しかし、活用機会だけを増やすことにとらわれることなく、より効果的な学習活動のために研修を深めながら活用機会を設けることや、より幅の広い学習活動への導入など、今後取り組むべき課題として様々な観点から考えていく必要があります。

学習面や生活面での様々な成果が感じられること、課題解決への意欲や相談に対する前向きな姿勢がうかがわれるからこそ、課題へのより細やかな対応能力が求められることや、様々な点について、教育相談の充実をはかり、学校がそれらの充実の一助となれるよう、努力や改善に努めていきたいと考えます。